

方谷の藩政改革

約十両(現在の約300億円相当)ほどの借金を抱えた備中松山藩の財政再建担当となった方谷。数々の画期的な改革を実行し、傾いていた藩の財政をわずか7年で立て直しただけでなく、藩の治安の改善や教育改革にも貢献しました。

① 上下節約で倹約を徹底

方谷は不要な支出を減らすために、主に中級以上の武士と裕福な農民や商人を対象に倹約令を出し、当時の役人たちの常識であった賄賂や酒馳走を禁止しました。厳しい倹約令に対して周りからは反発がりましたが、方谷は藩士の俸禄(給与)を減らす前にまずは自身の給与を大幅に引き下げるなど、自らが先頭に立って改革を行いました。

倹約令の内容

- ① 食事は一汁一菜で質素にする
- ② 服は上下ともに絹布を禁止し、綿織物などを使用
- ③ 足袋を履くのは9月から翌年4月までに限定
- ④ 結髪・家政は人手を借りないなど



岡山県消費生活問題研究協議会高梁支部
山本都久子さん

めざせ！
方谷さん

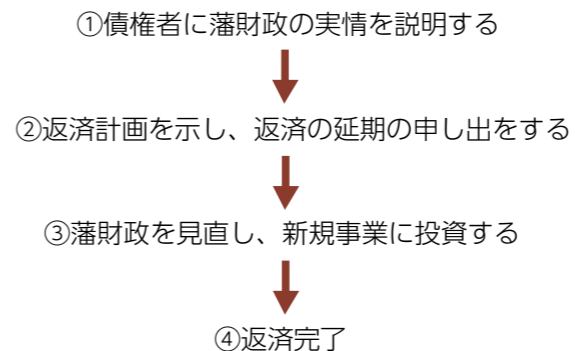
周りに命令する前に、まずは自分が率先して動いた方谷さんは模範的なリーダーだと思います。私も地域を元気にするために、自分のできることから行っていきたいと思います。

② 方谷が直談判！

負債整理

嘉永3(1850)年に方谷は自ら大坂へ行き、債権者である商人たちに藩の帳簿を包み隠さず公開しました。収入が少なく藩財政の実情を暴露すれば債権者たちの信頼を失いかねませんでした。藩の窮状を正直に説明した上で堅実な返済計画を示し、返済を延期してもらえるように願い出ると、債権者たちは方谷の申し出を受け入れました。

方谷の返済計画



方谷が藩政改革に着手した当時、備中松山藩の藩札は大量発行したために信用が低く、財政の悪化に大きく影響していました。そこで方谷は、古い藩札を買い取り、嘉永5(1852)年に回収した藩札を現落合町近隣の河原で焼却しました。その後、方谷は新紙幣を発行したことで、藩札の信用は回復し、地域経済の活性化につながりました。



藩札は領域内の売買に使用され、藩外では貨幣と交換できる

めざせ！
方谷さん

高梁商工会議所 藤岡孝 会頭

現在、市内にある多くの企業が後継者不足などの難しい課題を抱えています。方谷さんの生き方からヒントを得て、地域経済の発展に貢献し、少しでも高梁を元気にしたいと思います。



③ お金を燃やした!? 藩札刷新

④ 藩内の特産品を全国へ

方谷は藩の収入を増やすために、嘉永5(1852)年に撫育方(藩内の事業部門)を新設。撫育方は、藩内で生産された年貢米以外の生産物の販売管理を担当し、藩に莫大な利益をもたらしました。この頃は、備中北部の良質な砂鉄を使った農機具や刃物をはじめ、茶、たばこ、柚子餅などの生産・販売に力を入れました。その中でも、三本歯で容易に土を耕すことができる「備中鋤」は大ヒットし、全国に普及しました。



めざせ！
方谷さん

百姓のわざ伝承グループ 藤田泉さん

優しい香りとはのかな甘みが特徴の地紅茶「高梁紅茶」の製造・販売をしています。方谷さんが高梁の特産品を全国へ広めたように、高梁紅茶のおいしさをより多くの人に広め、高梁の魅力についても今以上に知ってもらえるように頑張ります。

